

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本 科目コード:130019 生活援助論 I Basic Nursing Skills I												
担当教員	田村幸恵、瀬戸清華、千田明日香、石川倫子、寺井梨恵子、石井和美、橋本知奈、酒井麻衣											
実務経験	すべての担当者は、医療機関での実務経験を有しており、それに基づき授業を行う。											
開講年次	1年次前期	単位数	1			授業形態	講義・演習					
必修・選択	必修	時間数	30									
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○	(4)	(5)	(6)				
Keywords	看護技術、基本的技術、安全性、安楽性、自立性											
学習目的・目標	【学修目的】 日常生活援助に共通する感染予防の技術、コミュニケーション技術、観察技術、生活環境調整技術、活動・休息援助技術について、基礎知識を理解し、安全・安楽に実施できる力を身につけることを目的とする。 【学修目標】 1. 看護技術とは何かを理解する。 2. 感染予防における基本知識を理解し、手指衛生と个人防护用具着脱の技術を実施できる。 3. 看護におけるコミュニケーションの基礎知識と基本的技術について理解できる。 4. 観察の意義と目的、方法が理解できる。 5. 看護技術に活用するボディメカニクスの基本原理が理解できる。 6. 生活環境を整える目的を理解し、環境の調整・整備が実施できる。 7. 活動の意義と活動制限による弊害を理解し、体位変換、移送・移乗が安全に実施できる。 8. 休息の意義と睡眠の阻害要因、援助方法について理解できる。											
授業計画・内容												
回	内容											
	ガイダンス 1) 看護技術とは 2) 基礎看護学実習室オリエンテーション											
1	観察技術 1) 看護における観察と目的 2) 観察の方法 3) 観察のプロセス											
2-4	看護コミュニケーション 1) 看護実践における対人関係 2) 基本的なコミュニケーション技術 3) 援助的関係の形成過程 4) チームで関係形成するためのコミュニケーション技術											
5-6	感染予防の技術 1) 感染予防の基礎知識と感染予防策 2) 手指衛生、个人防护用具着脱の実際											
7-8	生活環境調整技術 1) 生活環境を整える意義、居住環境の諸要因と調整方法、病室と病床の環境調整 2) 病室・病床環境の整え方の実際(ベットメーカー・環境の整え方)											
9-10	活動・休息援助技術 1) 良い姿勢と体位、ボディメカニクス 2) 活動の意義、活動制限による身体への影響、活動のアセスメントの視点 3) 体位変換・ポジショニングの実際											
11-12	環境調整技術 1) 病室・病床環境の調整技術 2) 臥床患者のシーツ交換の実際											
13-14	活動・休息援助技術 1) 活動の援助技術の実際(歩行援助、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送)											
15	活動・休息援助技術 1) 転倒・転落の要因、予防方法 2) 休息・睡眠の意義、睡眠メカニズムと阻害要因、睡眠を促す援助											
教科書	茂野おる編集: 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I, 医学書院 任和子編集: 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II, 医学書院 任和子, 秋山智弥編集: 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術(第4版), 医学書院											
参考図書等												
評価方法・基準	課題内容・提出状況40%、筆記試験60%で評価する。											
関連科目	看護学概論、生活援助論 II、フィジカルアセスメント、看護過程論、診療補助技術論 I・II、基礎看護学実習 I・II、解剖生理学、解剖生理学実習											
教員から学生へのメッセージ	日常生活援助に共通する看護技術を、基礎知識に基づいて安全・安楽に実施できる力を身に付けましょう。ここで学ぶ看護技術は、生活援助論 II の学習にも積み重なる内容です。知識・技術の習得のために、課題(事前学習・事後学習)に主体的に取り組んでください。講義や演習だけでなく、自己練習も必要となります。											